

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	1 年	単 位	2 単位
科目コード	67400	科目名	現代社会とファッション		授業期間	通年

担当教員(代表)：山口 容子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

現代社会におけるファッションビジネスの可能性を探るため、現場で働く講師を招き現状を知り、今後の学生が社会へ出た時のビジネスへの応用を目的とする。

I. ファッションビジネスの現状……………（講義）＜7 コマ＞

- ① ビジネスの目的と基本（3 コマ）
- ② モッズファッション（1 コマ）
- ③ リテールMDの仕事（2 コマ）
- ④ ブランド運営とリースの仕事（1 コマ）

II. ファッションビジネスWeb活用……………（講義・実習）＜7 コマ＞

- ① インキュベーターの現状（1 コマ）
- ② ファッションとITの可能性（2 コマ）
- ③ IT時代のプレスの仕事（1 コマ）
- ④ Webマーケティングの必要性（3 コマ）

III. リテールビジネス戦略……………（講義）＜5 コマ＞

- ① 販売の力（2 コマ）
- ② 売場から見る日本と海外のニーズの違い（1 コマ）
- ③ 貿易実務の実態（2 コマ）

IV. 現代社会のファッション……………（講義）＜5 コマ＞

- ① 雑誌から見る現代ファッション（2 コマ）
- ② コンサルタント視点から見るアパレル戦略（2 コマ）
- ③ 海外と東京のファッションの違い（1 コマ）

V. 学生キャリアへの落とし込み……………（講義）＜3 コマ＞

- ① 前期振り返り（1 コマ）
- ② 卒業研究へ向けての方向性（1 コマ）
- ③ 1 年間の振り返り（1 コマ）

評価方法・対象・比重

出席日数（80%） 聴講ノート（20%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 山口容子

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	2単位
科目コード 65570	科目名 キャリアデザイン	授業期間	通年

担当教員(代表)：二上 武生	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- 将来を考えるテーマを通し、「(読み)・聴く・書く・話す力」を養う
 - ・世の中に関心がもてるようになる
 - ・人前で自分の意見を堂々と言えるようになる
 - ・グループプレゼンテーションを通し、自分のことを表現したり、チームで協働することを経験する
- 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う
- 「自分のことや自分の考えを伝えること」は、就職活動に活用できるレベルを目指す

I. 授業目標設定……………（講義・プレゼンテーション）＜1コマ＞
II. キャリアについて考える・自分について考える……………（講義・グループワーク・プレゼンテーション）＜6コマ＞
1、「キャリア開発」について考える～働くこと・社会人について考える 2、「キャリア開発」について考える～ファッション関連の職種を考える 3、就職活動プランニング 4、ゲスス講演 5、「働くこと」について考える／「ファッション」について考える
III. 将来について考える……………（講義・グループワーク・プレゼンテーション）＜1コマ＞
IV. プロジェクト活動……………（実習）＜4コマ＞
・計画立案 ・進捗確認／計画練り直し ・報告／振り返り
V. プレゼンテーション実践……………（講義・グループワーク・プレゼンテーション）＜9コマ＞
VI. チーム協働……………（講義・グループワーク・プレゼンテーション）＜4コマ＞
VII. 授業まとめ（前期・後期）……………（講義・グループワーク・プレゼンテーション）＜2コマ＞
※各授業でレポート作成を行う

評価方法・対象・比重 レポート80%＋グループワーク20%

主要教材図書 特になし
参考図書 特になし
その他資料 随時配布

記載者氏名 二上 武生

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス	単 位	4 単位
科目コード	62300	科目名	リテールマネジメント	授業期間	通期

担当教員(代表)： 小嶋 洋子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションビジネスの最前線の、こういった職業についても、それぞれの有機的な役割が理解でき、マーケットとのつながりの中で、ビジネスとしての視点が持てることに重点を置く。また、チームワーク、リーダーシップを学ぶ。その総合力として、ポートフォリオとマイビジネスプランをターゲットの調査からブランド概要を立案し、ビジネスプランとして通用するプレゼンテーションができるようにする。

アパレル産業の構造理解(1コマ)

ファッションビジネスの構造と性質の理解(1コマ)

リテールの業態とビジネス(売上・利益)との関係性の理解(1コマ)

リテールとアイテムの特性、価格の関連性の理解(2コマ)

リテールの展開と表現(VMD、営業期、MD)の理解(1コマ)

ショッピングリサーチの重要性とその手法(売上・MD等)(2コマ)

ブランドの基本構造の理解と事例研究(2コマ)

ブランディング演習の手順の徹底(1コマ)

ブランディングプランニング演習(グループワーク)(7コマ)

商品・MD戦略・戦術の考え方の理解(2コマ)

店舗・販売戦略・戦術の考え方の理解(1コマ)

CRM戦略・戦術の考え方の理解(1コマ)

自分のSWOT分析(1コマ)

ポートフォリオ作成(13コマ)

ブランドの経営の考え方(2コマ)

プレゼンテーションの効果と方法(別途)

マイビジネスプランの作成(14コマ)

評価方法・対象・比重

1学期筆記試験 20% 課題提出 20% 卒業プレゼンテーション 50% 授業出席・態度 10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 小嶋 洋子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	1 年	単 位	2 単位
科目コード	61100	科目名	ファッションマーケティング		授業期間	通年

担当教員(代表)：山口 容子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

マーケティングの基礎であるリサーチから、その情報をもとにどのようにアパレル業界は運営されているのかリサーチ、講義、実習を通して学び理解する。

I. ファッションマーケティングとは……………（講義）＜2 コマ＞

- ① マーケティングとマーケットの理解
- ② 価値観の変遷

II. マーケティングの中のリサーチの重要性……………（講義）＜4 コマ＞

- ③ 業態の理解
- ④ ショップリサーチ
- ⑤ お買い物ヒアリング

III. ショッププランニング I ……………（講義）＜7 コマ＞

- ⑥ コンセプト
- ⑦ ターゲット理解とターゲットセグメンテーション
- ⑧ ライフスタイル分析
- ⑨ エリアの重要性
- ⑩ 競合店調査
- ⑪ 売場展開とショップイメージ

IV. ショッププランニング II ……………（講義）＜2 コマ＞

- ⑫ 販売促進を考える

V. 文化祭個人課題制作……………（講義）＜4 コマ＞

- ⑬ ポートフォリオ制作
- ⑭ 論理的構築

VI. 卒業制作課題……………（講義）＜8 コマ＞

- ⑮ 卒業制作完成に向けた実習
- ⑯ 魅力的なプレゼンテーション
- ⑰ プレゼンテーション実習

評価方法・対象・比重

プレゼンテーション（80％）出席日数（20％）

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 山口容子

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1
科目コード 65250	科目名 売場実務	授業期間	前期

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・販売員として、基本的な立ち居振る舞いを身につける
- ・お客様視点での判断と行動ができ、販売の楽しさや難しさなど、講義と実習を通して学ぶ

1. オリエンテーション
オリエンテーション・コミュニケーションスキルの向上
販売員の必要性、重要性を考えるきっかけを与える
自己紹介・他者紹介をし、コミュニケーションの重要性を知る
2. 店頭業務
店頭における立ち居振る舞い、接客8大用語、おたたみ等、店頭業務の基礎を知る
3. 接客応対
店頭でのファーストアプローチのあり方をディスカッションさせ、現状を共有する
ラッピング（百貨店包み、リボン結び、ネクタイの結び方）習得
お直し（パンツの丈あげ）のロールプレイングにより、技術を体得する
4. サービスチェック
店頭の現状を把握し、自身の応対に繋げるべく、全3回に分けたサービスチェックを行う
5. プレゼンテーション
サービスチェックの現状を踏まえ、自身の考える「販売員とは」を提言する

評価方法・対象・比重

試験（ロールプレイング・実技）・レポート・出席状況・授業に対する参加度による総合評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 川井佐江子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード	62205	科目名	売場計数	授業期間	後期

担当教員(代表)：薫森三義	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル業界で使われている計数の基礎知識の修得を目標とする。

- ① 計数用語の意味と計算方法の理解及び演習
- ② 業界で使用されている計画書、報告書などの書類の理解及び演習
- ③ 数値の読み取りを通しての計数感覚の向上

コマ	内 容	コマ	内 容
1	計数の持つ意味、	16	
2	売上高と掛率の関係、売場の理解	17	
3	売上高、利益のもと、利益の構造	18	
4	商品仕入れ、仕入れ条件	19	
5	値入高（率）、粗利益高（率）、ロス高（率）、商品消化率	20	
6	月初在庫高、仕入高、売上高、ロス高、月末在庫高の関係	21	
7	在庫高と売上高の関係	22	
8	損益分岐点売上高	23	
9	MD 上で必要になる計数用語	24	
10	売場での電卓の使い方	25	
11	日報、週報、月報、シーズン報告書へのまとめ方	26	
12	月度予算の週及び日割り予算への落とし込み	27	
13	ABC分析の意味	28	
14	1 年間の確認テスト	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

ペーパーテスト90% 授業参加度10%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 薫森三義

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科 1 年	単 位	3 単位
科目コード	46095	科目名	ファッション商品特性論 A	授業期間	前期

担当教員(代表)：徳満真紀	共同担当者： 山口容子
---------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル商品の理解を養い、商品への関心とものづくり造詣を高めることを目指す。

講義・実習を通し、接客をはじめアパレル業界で最低限必要な商品知識を習得、向上させせる。

I. オリエンテーション……（講義）＜2 コマ＞

1、アパレル商品の見方・用具の説明

II. 商品構造の理解（講義・実習）＜19 コマ＞

1、縫合の基礎…（講義・実習）＜4 コマ＞

直線ミシン、ロックミシンの使い方、手縫いの基礎、アイロンの使い方、地直しの習得…部分縫い

2、スカート制作…（講義・実習）＜5 コマ＞

ギャザースカートを通して縫合の習得。

① 歩行と裾周り寸法の関係

② 縫い代の始末の種類

③ パターン展開・パターン配列（柄）裁断

④ 縫い方順序（脇・ウエストの始末・裾上げ）

3、パンツ制作…（講義・実習）＜10 コマ＞

パンツの縫合を習得。

① 機能性とパターンの関係

② パターン展開・パターン配列（柄）裁断・印つけ

③ 付属裁断（芯はり）

④ ダーツ・タックの縫い方

⑤ ポケット作り・脇縫い・股下・股ぐり・裾上げ

⑥ 前あきファスナー構造と縫い方

⑦ ベルト・ベルト通し作り・ホックのつけ方

III. 人体構造と衣服設計…（講義）＜4 コマ＞

1、骨格と筋肉と動きを習得（各自シルエット計測）

2、下肢の構造と機能性

3、上肢の構造と機能性

4、経年変化と体型特徴

IV. ファッション商品について……………（講義）＜1 コマ＞

1、アパレルの商品分類

ファッション商品を扱うための基礎知識を身に付けるため、全てのアイテムを最小単位に分類し、アパレルの構成を理解させる。

V. 商品知識の習得……………（講義・実習）＜11 コマ＞

1、ディテールデザイン……………（講義）＜4 コマ＞

襟、襟ぐり、袖、ポケット等の基本型の名称と特徴を知る。

2、アイテム別商品知識……………（講義・実習）＜6 コマ＞

商品を扱うのに必要な基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。また、

学習した各アイテム別に今シーズンの写真を元にアイテム解説、コーディネート解説をすることにより接客時の表現力、トレンドの情報収集力を身につける。

- ① パンツ
- ② デニムウェア
- ③ スカート

3、商品素材の知識……………(講義)＜1コマ＞

販売における素材の基礎知識として、扱い注意点、セールスポイントを知る。

評価方法・対象・比重

アパレル制作（作品提出・出欠席・授業態度）

商品知識（デザイン、特徴、素材、構造など）について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう。

（前期、後期の平均点と出欠・授業態度）

主要教材図書

オリジナルテキスト（プリント）ファッション流通講座⑤コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ

参考図書

ファッションビジネス用語辞典（文化学園 教科書出版）

新ファッションビジネス基礎用語辞典（光琳社出版）

その他資料

アイテム別講義記入プリント

記載者氏名 徳満 真紀 山口 容子

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科 1 年	単 位	3 単位
科目コード	46096	科目名	ファッション商品特性論 B	授業期間	後期

担当教員(代表)：徳満真紀	共同担当者： 山口容子
---------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル商品の理解を養い、商品への関心とものづくり造詣を高めることを目指す。

講義・実習を通し、接客をはじめアパレル業界で最低限必要な商品知識を習得、向上させせる。

I. 商品化のための実物制作…（講義・実習）＜7 コマ＞

1、 バザーのための小物制作・バック作り

- ① 商品デザイン
- ② パターン、裁断
- ③ 縫製要点
- ④ 検品

II. 接着芯・裏地の特性について…（講義）＜2 コマ＞

1、 副資材の種類、特性を理解をする

III. 商品構造の理解（トップ）…（講義・実習）＜19 コマ＞

1、 シャツブラウスの構造を習得する。

- ① 機能とパターンの関係性
- ② パターン展開（デザイン展開の仕方）
- ③ 裁断・印つけ・付属裁断（芯はり）縫い代始末
- ④ ポケット・前端始末・ヨーク縫い・肩縫い
- ⑤ 衿作り・衿つけ・袖口あき始末（短冊）袖付け・袖下縫い・脇縫い
- ⑥ カフス作り・カフスつけ・裾上げ・穴かがり・ボタンつけ
- ⑦

IV. 商品知識の習得……………（講義・実習）＜13 コマ＞

1、アイテム別商品知識……………（講義・実習）＜10 コマ＞

商品を扱うのに必要な基礎アイテムのデザイン、名称、特徴、素材他を総合的に理解させる。また、学習した各アイテム別に今シーズンの写真を元にアイテム解説、コーディネート解説をすることにより接客時の表現力、トレンドの情報収集力を身につける。

- ① アクセサリー（帽子・靴・靴）
- ② シャツブラウス
- ③ ニットウエア
- ④ ワンピース
- ⑤ ジャケット
- ⑥ コート
- ⑦ 子供服

2、フォーマルウエア……………（講義）＜3 コマ＞

メンズ、レディースウエアのドレスコードとその着こなしを理解させる。

評価方法・対象・比重

アパレル制作（作品提出・出欠席・授業態度）

商品知識（デザイン、特徴、素材、構造など）について授業内容を理解できているか、筆記試験を行なう

(前期、後期の平均点と出欠・授業態度)

主要教材図書

オリジナルテキスト（プリント）ファッション流通講座⑤コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ

参考図書

ファッションビジネス用語辞典（文化学園 教科書出版）
新ファッションビジネス基礎用語辞典（光琳社出版）

その他資料

アイテム別講義記入プリント

記載者氏名 徳満 真紀 山口 容子

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	単 位	2
科目コード	20210	科目名	アパレル素材論Ⅰ	授業期間	前期

担当教員(代表)：野口 美千代	共同担当者
-----------------	-------

教育目標・レベル設定など

アパレルにおける素材の重要性を理解し、主な繊維・糸・布地に関し、種類・構造・特徴などの基礎知識を習得し、その知識を、アパレルやファッションに効果的に生かせるようにする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | |
|--|--------|
| 1. 概論（講義） | 1 コマ |
| アパレルとは、アパレルの素材、アパレル・テキスタイル産業 | |
| 「実習」服装調査 | |
| 2. 繊維（講義及び実験・演習） | 1 4 コマ |
| 繊維とは何か、繊維の分類 | |
| 繊維の各論 天然繊維（綿・麻・毛・絹 他） 化学繊維（再生・半合成・合成 他） | |
| それぞれの歴史、種類、形態、特徴、加工、用途 等 | |
| 「実習」精練漂白の効果 繊維の鑑別 布地調べ | |
| 3. 糸（講義及び演習） | 3 コマ |
| 糸の構成・構造（紡績糸・フィラメント糸・糸の撚り・糸の太さ） | |
| 糸の種類（素材別・形態別・用途別） | |
| 「実習」糸の分類、糸の構成分解、糸の太さ、ファンシーヤーンの区別 | |
| 4. 布地（講義及び演習） | 6 コマ |
| 布地の種類、選択 | |
| 織物 織物の種類（組織・構造・特徴・用途 等）三原組織・重ね組織・パイル組織・紋組織 他 | |
| 織物実習室見学 | |
| 「実習」織物の組織図、織物の分類 | |
| ニット ニットの種類（組織・構造・特徴・用途 等）たて編み・よこ編み | |
| 「実習」ニットの分類 | |
| 5. その他の素材（講義及び実習） | 2 コマ |
| 加工布・その他 | |
| 「実習」ブリーツ加工 | |
| 6. 見学 | 2 コマ |
| 東京都立産業技術センター 多摩テクにプラザ見学 | |

評価方法・対象・比重

前期末試験、課題、授業姿勢、出席状況の総合評価

主要教材圖書

文化ファッション体系服飾関連専門講座① 「アパレル素材論」 文化服装学院編 文化出版局

参考図書 「ワークブック アパレル素材論Ⅰ」文化服装学院編 教科書部

その他資料 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者書名欄 野口美千代

2015年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	単 位	2 単位
科目コード	20100	科目名	アパレル染色演習	授業期間	通年（前期・後期）

担当教員（代表）： 篠原 幸子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アパレル商品に使用する素材の染色・加工を学ぶ。

この知識を得ることにより、生地準備工程から商品完成までを読み取り、企画に反映させられるようになることを目標とする。

- | | | | |
|-----------------|--------|--|----------------------|
| 1. 縮絨加工 | (2 コマ) | ・羊毛の縮絨性について
・繊維を生地にする（原毛からのフェルト制作）
・ニードルパンチの応用 | (講義)
(実習)
(実習) |
| 2. 染色概論 | (2 コマ) | ・染色の意義と、繊維と染料の関係性の理解
・繊維の染色性の違いと、染色適性を理解する | (講義・実習) |
| 3. 製品染色 | (2 コマ) | ・衣類に使用されている繊維の染色適性の理解
・一般的浸染方法の理解 | (講義・実習) |
| 4. 捺 染 | (6 コマ) | ・量産による染色生地生産工程の流れの理解
・ハンドスクリーンプリントの特性を理解させる
・デザインモチーフから連続柄の構成法について理解させる
・色糊と助剤の関係の理解
・スケージング、仕上げ工程の理解（プリント工程）
・反応性染料によるプリント | (講義・実習) |
| 5. 抜蝕加工（オパール加工） | (2 コマ) | ・繊維ごとの薬品による影響と加工法
・繊維の複合状態と布表現の効果の理解 | (講義・実習) |
| 6. 工場見学 | (2 コマ) | ・実務および製品の生産工程を理解 | |
| 7. デジタルプリントについて | (2 コマ) | ・デジタルプリントの仕組みについて理解させる | (講義・実習) |
| 8. 皮革加工 | (4 コマ) | ・皮革の種類と特性の理解
・皮革への各種加工の理解 | (講義)
(実習) |
| 9. テキスタイル企画 | (4 コマ) | ・企画、目的に合わせた素材を制作する | (実習) |

評価方法・対象・比重 各実験・実習ごとの作品、レポートによる総合評価

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座 3. アパレル染色論
参考図書	

その他資料

記載者氏名 篠原幸子

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1
科目コード 40000	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：志村 純子	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

テキスタイルを織・編、染色加工、品質評価の観点から理解を深めるとともに、テキスタイルを複合したアパレルの品質基準、評価法、品質表示、取扱い方法などを講義・演習、実習を通して学ぶ。社会環境及び消費性能を意識し、アパレルの流通、販売などに学んだ知識がいかに役立つよう指導したい。また、クリーニング工場の見学も実施し、クリーニングのプロが素材を扱う注意点や実際の技術についても理解を深めさせたい。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

1. アパレルと品質 講義 2 コマ

- ・アパレルに求められる品質
- ・一般的品質管理とアパレル製品の品質管理
- ・アパレルの製造工程管理
- ・テキスタイルの品質評価及び基準

2. アパレル製品の品質表示と法規制 講義 3 コマ

- ・義務としての品質表示：家庭用品品質表示法
- ・任意表示
- ・特徴のある素材とその取扱い方法
- ・アパレル製品に関連する法規制（PL 法、薬事法、原産国表示など）

3. アパレル製品の取扱い 講義及び実験 7 コマ

- ・耐洗濯性：ウェットクリーニングとドライクリーニングなど
- ・保管
- ・染色堅牢度実験
- ・寸法変化実験
- ・耐薬品性：(しみ抜き実習)

4. アパレル製品の保証とクレーム事例 講義 1 コマ

- ・商品の保証とクレーム対策
- ・クレーム事例

5. クリーニング工場の見学（白洋舎(株) 東京工場） 見学 2 コマ

計 15 コマ

評価方法・対象・比重

試験を主に、レポート等提出物、出席・受講態度などを総合評価

主要教材図書

ファッション体系「アパレル品質論」文化服装学院編

参考図書 家庭用品品質表示規定集 衣料品の見分け方 など

その他資料

記載者書名欄

志村 純子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	2 単位
科目コード 67500	科目名 現代ファッション史	授業期間	半期 ()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

近代以降を中心に現在までの時代背景、文化等にふれながら服飾の流れについて学ぶ。また現代以降は各時代のデザイン様式、映画、音楽などの変遷にも触れファッションへの理解をより深めていく。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	博物館見学	17	
3	19世紀のファッション、オートクチュール誕生	18	
4	19世紀ー1900年代のファッション	19	
5	1910年代のファッション、ポワレ	20	
6	1920年代のファッション、シャネル	21	
7	1930年代のファッション	22	
8	1940年代のファッション、ミリタリーウエア	23	
9	1950年代のファッション	24	
10	1960年代のファッション	25	
11	1970年代のファッション	26	
12	1980年代のファッション	27	
13	1990年代のファッション	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
レポート提出、出席重視

主要教材図書
文化ファッション大系「西服装史」

参考図書

その他資料

記載者氏名 朝日 真

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	2 単位
科目コード 74130	科目名 ファッションコーディネート論	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：鈴木洋子	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションコーディネートの基本的な知識と技術を理論的に学び、客観的な視点に立ったコーディネートの実践を目指す。

◇課題設定

1. テーマに沿ったスタイリングを実践する : 情報を収集する、表現方法を練る、具現化する
2. 成果発表で評価を受ける : 課題ごとの考えや具現化したものを相手に伝え他者評価を受ける

◇授業概要(全26コマ)

1. オリエンテーション×2
「似合うとは」を考えコーディネートの本来の意味を理解する
ライフスタイルの分類を一覧化、TPOの必要性と重要性、求められるウェアリング
2. 素材の組み合わせ×4
同素材、異素材、柄の組み合わせ
3. イメージに視点を置いたコーディネート×5
8つのイメージ分類を一覧化 イメージを構成する要素を分解して整理
5W1Hでイメージに視点を置いたコーディネート提案をプランし実践、発表(課題)
4. アクセサリーに視点を置いたコーディネート×5
帽子、ネックレス他小物の取り扱いと装い方
5W1Hでアクセサリーに視点を置いたコーディネート提案をプランし実践、発表(課題)
5. カラーコーディネート×6
基本的なカラーコーディネートの種類とコーディネートテクニック
6. 錯視効果を体型カバーに応用×5

評価方法・対象・比重

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑦コーディネートテクニック演出編 I

参考図書

その他資料

記載者氏名

科コード 13901

科名 流通ビジネス科

単

位 2

科目コード 53050

科目名 色彩活用学

授業期間

通年

担当教員(代表): 天野豊久

共同担当者:

教育目標・レベル設定など

色彩の基礎と、科の特性に合わせた応用を、演習実習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|----------|--|--------------------|
| 1. 導入 | 色彩について | 〈講義 1 コマ〉 |
| 2. 色の三属性 | 色の三属性(色相・明度・彩度)
等色相面／色立体
Hue & Tone システム | 〈講義および演習 4 コマ〉 |
| 3. 配色 | 基礎配色
色相の配色／トーンの配色
配色の応用
流行配色
フォカマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イン・トーン／トータル
ナチュラルハーモニー／コンプレックスハーモニー
無彩色の配色／柄の配色 | 〈講義 8 コマ〉 |
| 4. 色彩と心理 | 色彩の感情効果／連想／イメージ
色の見え 対比現象／同化現象
膨張性／進出性 | 〈講義 3 コマ〉 |
| 5. 色彩理論 | 光／三原色と混色／眼 | 〈講義および演習 3 コマ〉 |
| 6. 色彩の活用 | 流行色
カラーコード／色名
カラーリサーチ
トレンドカラー分析 | 〈講義および演習、実習 10 コマ〉 |
| 7. まとめ | | 〈講義および演習 1 コマ〉 |

評価方法・対象・比重

提出物の評価および学年末期試験の得点を総合的に評価し、出席など授業態度を加味して最終評価とする。

主要教材図書

『ファッション色彩Ⅰ』(文化出版局)

参考図書

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

記載者書名欄 天野豊久

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13501	科 名 流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード 33000	科目名 自由選択 A・B バッグ	授業期間	前期・後期各 1 単位

担当教員(代表)：中野 麗子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションコーディネートに必要なアクセサリーの基本を学び、布地を使った一重のエコバッグと裏地つきの曲げまちのトートバッグの2種類を製作。

コマ	内 容
1	一般知識、スケジュール説明、エコバッグパターン作り
2	裁断
3	ポケット作り、手ひも作り
4	脇縫い
5	手ひもつけ、完成
6	曲げまちのトートバッグパターン作り
7	裁断
8	ポケット作り、付け見返し付け、組立て
9	外ポケット作り、手ひも作り
10	インソール芯貼り
11	手ひも付け、組立て
12	本体と中袋を合わせる、完成

評価方法・対象・比重
実物作品・出欠席

主要教材図書	文化ファッション大系流通講座④コーディネートテクニックアクセサリー編Ⅱ
参考図書	文化ファッション大系ファッション工芸講座③ バッグ
その他資料	実物参考標本、段階標本

記載者氏名 中野 麗子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13501	科 名	流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード	34002	科目名	造形選択帽子 A・B（布地）	授業期間	前期・後期 各 1 単位

担当教員（代表）：徳満 真紀	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションコーディネート演習に必要なアクセサリーの基礎として、布帛による基本的な帽子を製作し知識技術を習得する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	一般知識（歴史・分類・名称・素材・用具・かぶり方・マナー）採寸・パターン製作（キャップ）・芯貼り		
2	裁断（表・裏）、印つけ		
3	表クラウン製作		
4	裏クラウン製作、表・裏クラウン中とじ		
5	ブリム製作・つけ、サイズリボンつけ		
6	仕上げアイロン、提出 クロッシュ（基本・応用）ハンチング、ベレー絵型、 デザイン相談・パターン製作		
7	パターン製作、裁断（表・裏）・芯貼り・印つけ		
8	裁断（表・裏）・芯貼り・印つけ・表クラウン縫い		
9	裏クラウン製作		
10	ベルト、ブリム製作		
11	クラウン中とじ、サイズリボンつけ		
12	仕上げアイロン、提出、発表会		

評価方法・対象・比重

出欠席・実物作品

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリー編Ⅰ
文化ファッション大系ファッション流通講座⑦コーディネートテクニック演出編Ⅰ

参考図書

その他資料 実物参考標本 実物段階標本

記載者氏名 徳満 真紀

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通科ビジネス科	単 位	単位 1
科目コード 13235	科目名 「自由選択」ニット A/B	授業期間	()

担当教員(代表)：小林 桂子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ニット編み地の基本を理解し、ファッションアイテムである ニット小物を自由に制作する

- * 棒針基礎編み・・・・・・3コマ
パール編み メリヤス編み リブ編み ニットの3原組織を編む
- * 鉤針基礎編み・・・・・・2コマ
鎖編み 細編み 中長編み 長編みの基本編地を編む
- * ニット小物・・・・・・7コマ
棒針編み 鉤針編みの基本編地を使用し、ニット小物を制作する

評価方法・対象・比重

課題提出 出席状況

主要教材図書 コーディネイトテクニクアクセサリー論 I

参考図書 ニット小物冊子

その他資料 オリジナルプリント

記載者氏名 小林 桂子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	単位 1
科目コード 30001	科目名 自由選択（アートフラワー）	授業期間	半期（前期/後期）

担当教員（代表）：久保田桂子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アクセサリ、インテリアの1つとしてアートフラワーの基本的な知識と技術、造形・色の組み合わせのバランス感覚を習得し、クリエイティブかつオリジナルな創作力を身につけることを目標とする。

1. アートフラワー一般知識 (0.5)
アートフラワーの一般知識と使用する用具などを理解させる
2. 染色 色見本表制作 1点 (0.5)
染色方法や色出し方法の基礎を理解させる
3. ダリア 作品1点制作 (2)
花の構造と染色時における布による染まり具合の違いや色の重ね方などを理解させる
4. あじさい 作品1点制作 (3)
布の裁断、コテあて、小花・リボンのまとめ方などの基本を理解させる
5. 小花（デージーか野ばら）・野すみれ・スズラン 作品1点制作 (4)
抜き弁を使用しでの染色、コテあて、花のまとめ方などの基本を理解させる
6. カメリア 作品1点制作 (4)
布帛を使用して糊引きの方法、コテあて、花のまとめ方などの基本を理解させる

評価方法・対象・比重
実物作品 出欠席

主要教材図書
文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 プリント コレクション写真 各種標本
参考図書
その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード 51105	科目名 ファッションデザイン画 (応用)	授業期間	後期

担当教員(代表) : 金谷 容子	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

前期で習得した基礎技法に画材研究を加え、応用テクニックと創造力を高める。

後期

- 彩色表現
- 素材表現
- デザイン発想
- 修了制作

評価方法・対象・比重

課題作品の提出・出席状況・授業態度による総合評価

主要教材図書 ファッションデザイン画の教科書・補助プリント

参考図書 ファッション雑誌

その他資料

記載者氏名 金谷 容子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード 94905	科目名 自由選択 きものの着付け A／B	授業期間	前期・後期各 1 単位

担当教員(代表)：赤羽 有美	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

浴衣、きものの一般知識及び基本的な着装の方法を身に着ける。また、和装をコーディネートする観点からその文化的背景を理解して時代に即したスタイリングができることを目標とする。

コマ	内 容
1	オリエンテーション、着物の歴史・一般知識
2	浴衣の一般知識、半幅帯の結び方（文庫結び、小菊結び、貝の口）
3	下着・補正について、浴衣の着付け（自装）、下着・浴衣のたたみ方
4	浴衣の着付け（他装）
5	浴衣の着付け実技テスト（浴衣、半幅帯）
6	名古屋帯の扱い、帯の種類について
7	お太鼓の結び方、半襟のつけ方
8	長襦袢・外出着などの着付け、お太鼓結び
9	お太鼓結び復習、きものの種類について
10	外出着などの着付け（他装）
11	きものの着付け実技テスト
12	装いのTPO、コーディネートについて、まとめ

評価方法・対象・比重 出欠席、実技テスト

主要教材図書 なし
参考図書 最新版きものに強くなる辞典
その他資料 プリント

記載者氏名 赤羽 有美

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード	35055	科目名	ハンディワーク	授業期間	半期選択

担当教員(代表)：毎熊 舞	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ハンディワークにおける基礎知識・レース表現（マクラメレース）・加飾美表現の基礎（色系刺繍、ビーズ・スパングル刺繍）を理解することを目標とする。また、市場調査や雑誌等で昨今の手工芸の流行を知り、基礎で学んだ加飾美表現を用いたオリジナルファッション小物を製作する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	授業内容の説明・マクラメレースの基礎	16	
2	マクラメレースの応用（ブレスレッド制作）	17	
3	エンブroidアリー基礎（アップリケ）	18	
4	エンブroidアリー基礎（色系刺繍）	19	
5	エンブroidアリー基礎（色系刺繍・ビーズ刺繍）	20	
6	エンブroidアリー基礎（スパングル刺繍）	21	
7	エンブroidアリー基礎（リボンワーク）	22	
8	エンブroidアリー基礎（コードの作り方・仕上げ）	23	
9	エンブroidアリー応用（デザイン相談）	24	
10	エンブroidアリー応用（実習・点検）	25	
11	エンブroidアリー応用（実習・点検）	26	
12	エンブroidアリー応用（実習・点検・作品提出）	27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
作品評価

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧「手芸」

参考図書 各種コレクション写真集等

その他資料 各種標本

記載者氏名 毎熊 舞

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード 45021	科目名 自由選択 A.B ソーイング（トップス）	授業期間	前期・後期 各 1 単位

担当教員（代表）：鈴木 梢	共同担当者：
---------------	--------

概要

ニット素材・カットソーの一般知識及び基本的な縫製方法を身に着ける。素材の特性を理解した上でトップスをデザインし、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ニット生地の種類・性質・縫製方法説明、デザイン相談	16	
2	デザイン相談・実物作図・パターン作り	17	
3	実物作図・パターン作り	18	
4	本縫い準備・裁断・印つけ	19	
5	4本ロックミシン操作・レジロン系での縫製の仕方確認・本縫い	20	
6	本縫い 肩・脇・襟ぐり縫い	21	
7	本縫い 袖ぐり・袖下縫い	22	
8	本縫い リブ縫い・付属付け	23	
9	本縫い アタッチメントを使用した袖口縫い	24	
10	本縫い アタッチメントを使用した裾上げ	25	
11	本縫い まとめ・アレンジ	26	
12	仕上げ 仕上げアイロン・提出・発表会	27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

実物作品・出欠席

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑥コーディネートテクニックアパレル編 II（商品構成）

参考図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑤コーディネートテクニックアパレル編 I（商品知識）

その他資料 実物参考標本、実物段階標本

記載者氏名 鈴木 梢

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	1 単位
科目コード 45021	科目名 自由選択 A・B ソーイング（ボトムス）	授業期間	前期・後期 各1単位

担当教員（代表）：平野栄子	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ボトムスの基本であるスカートとパンツの基礎知識と下半身の体型を理解し、実物作品を完成させてコーディネートテクニックを学習させる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	デザイン相談・実物作図・パターン展開	16	
2	実物作図・パターン作り	17	
3	裁断・印しつけ	18	
4	本縫い準備 付属裁断、芯はり、縫い代の始末	19	
5	本縫い ダーツ、タック、プリーツ縫い	20	
6	本縫い ポケット作り、つけ、脇縫い	21	
7	本縫い 後ろ中心縫い、パンツ、スリット作り 股下、股ぐり縫い	22	
8	本縫い ファスナーつけ	23	
9	本縫い ベルト作り、つけ	24	
10	本縫い 裾上げ	25	
11	本縫い まとめ、ホック、糸ループつけ	26	
12	仕上げ 仕上げアイロン、提出、発表会	27	
13		28	

評価方法・対象・比重

実物作品、出欠席

主要教材図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑥コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ（商品構成）
参考図書	文化ファッション大系ファッション流通講座⑤コーディネートテクニックアパレル編Ⅰ（商品知識）
その他資料	実物参考標本、実物段階標本

記載者氏名 平野栄子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	単 位	2
科目コード 90610	科目名 Global English Communication	授業期間	通年

担当教員(代表) : Alan Martinsen	共同担当者 :
---------------------------	---------

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英語をツールにしてコミュニケーションをとれるように、インターネットの大切さに留意させるとともに、相づちの打ちかたなどもふくめた英語の運用力をつけることを目標とする。

文法中心ではなく、体験的なクラス運営を試みているので英語の知識の差に関係なく誰でも授業に参加して学習することができる。

1	イントロダクション	8	初めて出会う (1)	14	フレンドシップ 絆	21	意見の強調と明解化
2	会話の対応のしかた	9	出会い (2) 雑談	15	フレンドシップを固める	22	総合的理解
3	好き／嫌い	10	出会い (3) 会話	16	会話内容を深める	23	グループディスカッションの原理
4	WH-クエスチョン	11	出会い (4) 別れ際	17	WH-の使い方	24	1体1のディスカッションの原理
5	話を続ける	12	復習	18	理由づけ	25	ディスカッションの練習
6	相づちの打ちかた	13	出会いの会話 : テスト	19	意見と裏付け	26	ディスカッション : テスト
7	招待する			20	賛成／反対		

評価方法・対象・比重

出席状況、クラスの英語活動への参加状況、まとめのテストなどを総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

担当教員の準備する配布物

記載者署名欄 薩田 須美子

2015 年度 カリキュラム科目概要

流通ビジネス科 コンピュータワーク 基礎		単 位 授業期間	1 半期
担当教員(代表)：西村 元良		共同担当者：B117 スタッフ	
教育目標・レベル設定など 通常授業で扱うグラフィックソフトの基礎内容を中心に講義・実習をおこなう。PC スキルの向上を目指す。 ・ ドロー系ソフト/Illustrator の基礎とペイント系ソフト/Photoshop の基礎			
授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、 テーマ：基本操作の技能習得 授業は全て講義・実操作で行い、実習練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく フォトレタッチ系 CG (Photoshop/Adobe 社製)・6 コマ ・ 基本操作、画像の加工方法及び、印刷物へ利用する為の画像の基本知識・操作を習得 ・ 画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③スキャナーの利用 ④印刷 ＜課題＞ 自由テーマの合成画像作成 Draw 系 CG (Illustrator/Adobe 社製)・5 コマ ・ 基本操作、MAP や企画書を作成していく上で必要となる機能・操作を習得 ①ツールの切替・選択の方法 ②図形・線の描画 ③文字の入力 ④習得状況の確認ミニテスト ・ 適材適所のソフトの利用と実践での理解度確認 ・ マップ製作を通じて適切なソフト利用の確認を行う ・ Illustrator と Photoshop・2 ソフト間の連携利用、連携に必要な画像加工方法、画像の配置と利用 印刷＜総合演習課題＞自分の好きなものを紹介するA3サイズ・マップ製作 連携操作 (Photoshop/Illustrator)・2 コマ ・ 印刷物に利用するための画像加工方法 ・ 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明 コマ数：13 コマ 使用ソフト名：Adobe 社 Illustrator/Photoshop			
評価方法・対象・比重 課題制作物、出欠日数で5（課題制作物）：5（出欠日数）の比重で行う総合評価			
主要教材図書 事前に準備したレジメの配布資料			
参考図書 特にありません			
その他資料 筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上（推奨）			
記載者署名欄			

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科1年	単 位	(1 単位)
科目コード	96810	科目名	コラボレーション	授業期間	集中

担当教員(代表)： 山口 容子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

企業の企画するイベントや仕事とのコラボレーションを通して、仕事の依頼を正しく理解し、考える力・踏み出す力・協力し合う力を養うことを目標とする。

将来の仕事に直結したプログラムに参加することでプロ意識を実践の場で体験することを目指す。

コラボレーション参加内容（案）

- ・ファッションショーや展示会の企画運営
- ・ポップアップショップ企画実務
- ・商品企画
- ・販売促進企画運営
- ・ウインドーディスプレイ企画実務
- ・雑誌、ウェブマガジンの特集記事企画と実務（企画取材から情報発信振り返りまで）

企業やその他団体の仕事内容に合わせて、調整を行い運営実行していく。

- * コラボレーションということで、インターンシップとは違い、企画や実行段階から参加する。
- * 協力頂いた企業や団体にメリットがあるようビジネスの視点を持ち実行する。
- * 個人の課外活動として取り組む積極性を身につける。
- * 責任ある行動、スケジュール管理といった社会適応力を持つ。

評価方法・対象・比重

コラボレーション授業出席日数（100%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13901	科 名 流通ビジネス科	1 年	単 位	1 単位
科目コード 98100	科目名 特別講義		授業期間	通年

担当教員(代表)：山口 容子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

教養科目として位置付けている。ファッションを広く捉え、様々な業界で活躍する人材から社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ち、キャリアを積み上げていく柔軟な発想へとつなげていくことを目標とする。

I. キャリアを考える……………（講義）＜2 コマ＞

- ① 就職活動とキャリアを考える
- ② 学歴を活かした就職活動

II. グローバルビジネス……………（講義）＜2 コマ＞

- ① 海外進出のためのステップ
- ② 日系企業と外資系企業の違い

III. 現代ビジネス……………（講義）＜4 コマ＞

- ① オムニチャネルを考える
- ② OEMビジネス成功の鍵
- ③ ネット通販の現状
- ④ ビジネスディレクションの仕事

IV. ファッション知識……………（講義）＜4 コマ＞

- ① 着物の基礎知識と浴衣着付け
- ② パーソナルメイク
- ③ スタイリストの仕事
- ④ 商品企画のためのパーソナルカラー

V. その他……………（講義）＜1 コマ＞

- ① 京都研修旅行

評価方法・対象・比重

出欠席（90%）聴講ノート（10%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 山口容子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科 1 年	単 位	3 単位
科目コード	96200	科目名	校外研修	授業期間	集中

担当教員(代表)： 山口 容子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションを広く捉え、見聞を広めることでビジネス応用力向上や、視野を広げることを目標とする。

I. 京都研修旅行

ワコールミュージアム見学

染め工房見学

寺院見学

京都の市場調査

II. 美術館見学

III. イベント見学

ホビーショー見学

IV. マーケットリサーチ

ショッピングリサーチ、タウンウォッチング、エリアリサーチ

V. 企業訪問

革漉き工場見学

OEM会社訪問

学内で学習が不可能な企業視察や見学、体験を通じた学習。親睦を含め社会適応力を養う

- ・集団でのマナーある行動や自己管理ができる
- ・協力し合うこと、責任を持つことで人間関係の形成を図る

評価方法・対象・比重

出席日数（100%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	96650	科目名	インターンシップ	授業期間	集中

担当教員(代表)： 山口 容子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

実習を通してファッション流通業界の実際に触れることで、(1)から(4)の理解・体得を目標とする。

- (1) 流通の商品企画、仕入れ、売場構成、商品構成、販売促進の仕組み
- (2) 商品の取り扱い方、在庫管理の方法
- (3) 接客による消費者ニーズの把握
- (4) 社会人としてのマナー、接客におけるマナー、実務の厳しさの体験

プロ意識を実践の場で体験、就業体験は社会に出るための準備と位置付ける

- ・ 将来の自分を意識する
- ・ 自己の就業意識や専門知識の学習意欲の向上につなげ実務能力を高める
- ・ 実利を伴う実践的な能力を身につけ就職後の職業生活に対する適応力を高める
- ・ 仕事や職場の状況を理解し、自己の職業適性や能力、職業選択について真摯に向き合う

研修内容 （受け入れ先の業務に合わせて可能な内容で依頼）

- (1) 企業の概要及び販売・営業部門の基本的方針など事前研修
- (2) 営業・商品企画部門での見学、バイヤーとの同伴活動、展示会見学
- (3) 商品管理・物流部門での実習、見学
- (4) 周辺の市場調査、同業他社店舗と比較レポート
- (5) 配属先での実務

評価方法・対象・比重

インターンシップ出席日数（100%）

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 山口 容子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13901	科 名	流通ビジネス科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	97920	科目名	卒業制作	授業期間	集中

担当教員(代表)： 山口 容子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各学生の就職後のキャリアを卒業制作の延長線上に捉えたテーマ、研究内容にする。

実社会からの評価も得ながら取り組むことで、よりリアルなビジネスプランを構築することを目標とする。

1 年間の集大成としてリテールマネジメントの科目で行ったビジネスプランを発表に向けプレゼンテーション資料を作り上げる。

I、魅力的なプレゼンテーションとは.....講義・実習

- ・リテールマネジメントで企画したビジネスプランが1年間の集大成となる
- ・ビジネス現場におけるプレゼンテーションが前提となる
- ・本番直前まで伝えるストーリーを磨きあげる

II、PDCA実習.....講義・実習

III、論理的構築.....講義・実習

IV、企画書まとめ.....実習

* 上記を行うために実習と点検を繰り返す

* 「考えたことが人に伝わる」ように成果のあるプレゼンテーションを目指す

ビジネスプラン構築にあたり関わった企業様や講師を招き公开发表を行いフィードバックをもらうことで一年間の成果とする
また、質疑応答に応えるビジネスコミュニケーション能力向上も目指す。

評価方法・対象・比重

プレゼンテーション8割 出欠席2割

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 山口 容子